



田中彫刻記

でんちゅうちょうこくき

そぞうけんきゅう せい か
第十四話 ～塑造研究の成果～

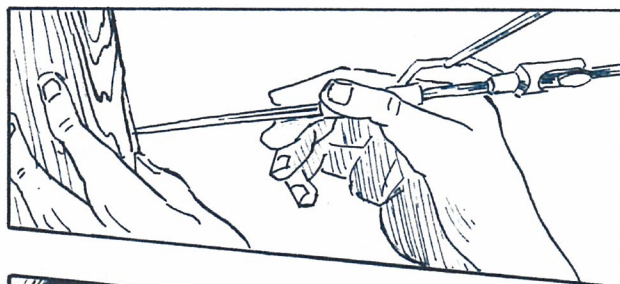
Takashi

作 ©いとうたかし



1メートルを超えるこの立像から
わき出てくる力は——

3年間にわたった
人体研究の成果が
発揮されています。

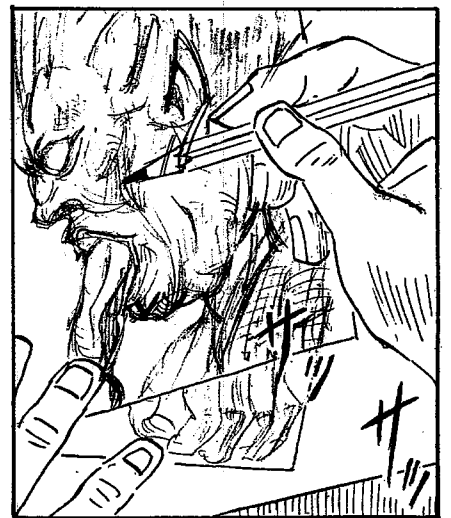
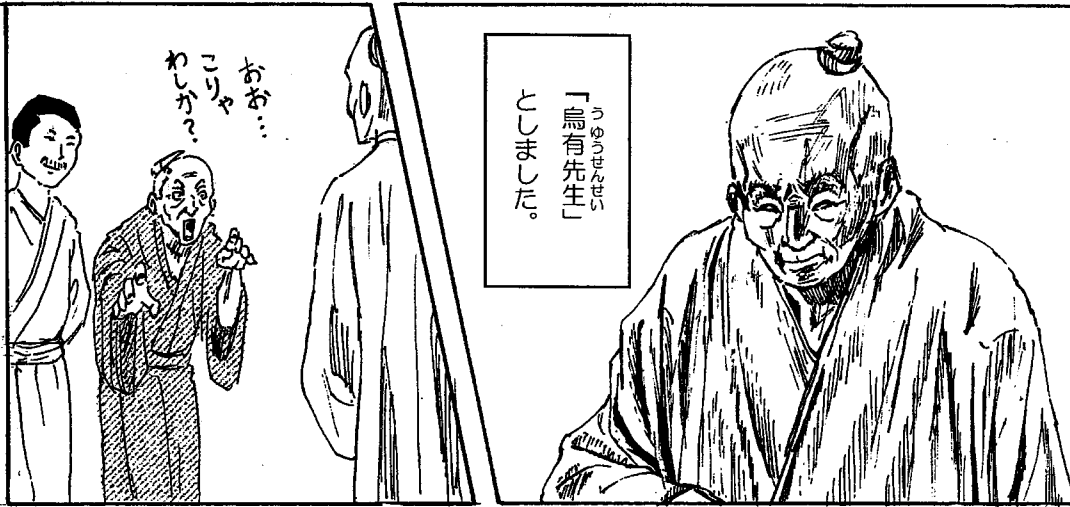


田中は、人力車夫の
おじいさんから
イメージをひくくま
作品を作りました。



作品は完成しましたが、
 どうにもタイトルの付けようが
 なかったため、
 「烏んぞ有らんや」
 (何でもない) という意味を込めて、

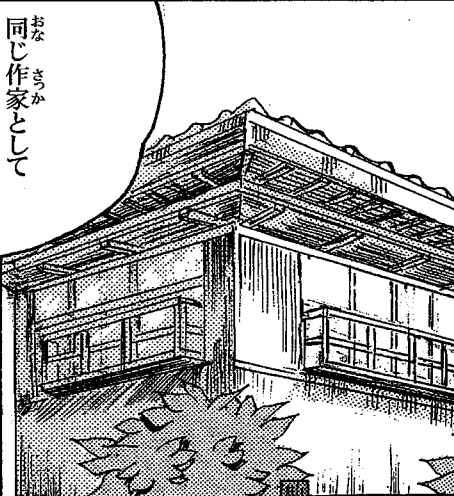
「烏有先生」
 としました。



ひたむきに打ち込む田中を
 見て、強く心を動かされた
 友人達がいきました。



にほんがか、たまごまたいかん、しちぢりかんざん
 日本画家の横山大観、下村観山
 きむらひあきん、なかも
 木村武山といった仲間が、
 田中のために、
 新しいアトリエを建てる
 費用を生み出してくれたのです。



おなじ作家として
 協力させてもらいますよ。
 必要な材料があったら
 言うてくれ



ありがとうございます
 いただきます...
 たくさん
 作ります!!

しだやく、げんさい
 一丁谷区(現在の
 台東区)上野桜木町一